

第0章

分析と対策

§1 過去問分析

英語一列のテキストが「the Universe of English」から「On Campus」に変更されたのは2006年のことである。したがって、本書では2006年度以降の過去問を対象に調査した。その結果を以下に記す。

2009年度

大問	出題範囲			設問	出題形式
	Chapter	ページ	行		
A	1	4	43-68	1	文中の()欄に当てはまる適切な形容詞を選択
				2	下線部の適切な言い換えを選択
				3/(2)	下線部の具体例を2つ選択
				4	文法的に不適切な語を抜き出す
B	4	40	102-136	1	文法的に不適切な語を抜き出す
				2/(4)	文中の()欄に当てはまる適切な接続詞を選択
				3/(6)	文中の()欄に当てはまる適切な形容詞を選択
C	6	58	46-84	1/(6)	文中の()欄に当てはまる適切な文を選択
D	11	128	29-63	1/(4)	文中の()欄に当てはまる適切な前置詞を選択
				2	下線部の内容を描写
				3	下線部を表す図を選択
				4	句を挿入する位置を選択
				5	本文と合致するものを選択
E	8	リスニング		-(4)	内容が一致するものを一つ選ぶ
F	2			-(5)	ディクテーション
G	13			-(4)	内容が一致するものを一つ選ぶ
H	創作			-(7)	正誤問題

2008年度

大問	出題範囲			設問	出題形式
	Chapter	ページ	行		
A	1	2	1-42	1/(4)	選択式空欄補充
				2	選択式空欄補充
				3	換言
				4	並び替え
				5	並び替え
B	5	46	1-30	1	換言
				2	itが指すもの
				3/(5)	suchの具体例正誤
				4	換言
				5	換言
C	6	62	132-165	1	内容を絵で正しく表現されたものを選ぶ
				2	換言
				3	選択的空欄一文補充
				4/(5)	選択的空欄一語補充
D	11	128	50-63	-(5)	文法問題
E	10	リスニング		-(4)	ディクテーション
F	4			-(9)	正誤問題
G	11			-(10)	要約文に単語を入れる
H	創作			-(4)	与えられた問題に答える

2007年度

大問	出題範囲			設問	出題形式
	Chapter	ページ	行		
A	2	12-13	6-35	1/(4)	選択的空欄一語補充
				2/(3)	選択的空欄一語補充
				3	on the other hands の指すもの
				4	換言
				5	換言
B	6	58-60	38-84	1/(3)	並び替え
				2	選択的空欄一語補充
				3	選択的空欄一文補充
				4	選択的空欄一語補充
				5	選択的空欄一語補充
C	5	46-47	17-30	-	段落整序
D	10	118-120	180-197	1	選択的空欄一語補充
				2/(2)	選択的空欄一語補充
				3	選択的空欄一語補充
				4	our の指すもの
				5	換言
				6	選択的空欄一語補充
				7	換言
E	2	リスニング		-(5)	与えられた質問に答える
F	5			-(5)	要約文に単語補充
G	7			-(4)	ディクテーション
H	創作			-(4)	読まれた質問と選択肢に答える

2006年度

大問	出題範囲			設問	出題形式
	Chapter	ページ	行		
A	3	30-32	158-175	1	換言
				2	換言
				3	are の主語
				4	動作の主体選択
				5	類語指摘
				6	feel の主語
B	10	108-110	38-51	1	選択的空欄一語補充
				2	選択的空欄一語補充
				3	選択的空欄一語補充
				4	選択的空欄一文補充
C	5	50	62-86	1	内容把握
				2	内容把握
D	7	80	215-228	1	段落整序
E	1	4	43-57	1/(4)	選択的空欄一語補充
F	2	リスニング		-(6)	正誤問題
G	創作			-(5)	ディクテーション

注1) 設問の()内は解答すべき問題数・2問以上のみ表示

注2) 便宜上ハイフン(-)で示した箇所がある。

Reading

年度 章	09	08	07	06	計
1	○	○		○	3
2			○		1
3				○	1
4	○				1
5		○	○	○	3
6	○	○	○		3
7				○	1
8					0
9					0
10			○	○	2
11	○	○			2
12					0
13					0

Listening

年度 章	09	08	07	06	計
1					0
2	○		○		2
3				○	1
4		○			1
5			○		1
6					0
7			○		1
8	○				1
9					0
10		○			1
11		○			1
12					0
13	○				1

Reading & Listening

年度 章	09	08	07	06	計
1	R	R		R	3
2	L		RL	L	4
3				R	1
4	R	L			2
5		R	RL	R	4
6	R	R	R		3
7			L	R	2
8	L				1
9					0
10		L	R	R	3
11	R	RL			3
12					0
13	L				1

§2 試験対策

全節の調査結果をもとに問題を見渡してみれば、英語一列の試験は概ね以下のものであると言える。

- ✓ Reading, Listening の大問数は各 4 問程度。
- ✓ Reading は穴埋めが主体で、教科書 1 ページ程度のまとまった英文が出題。
- ✓ 注釈のある箇所が出題される可能性が非常に高い。
- ✓ 初見で解けない事は無いが、曖昧な選択肢も存在する。
- ✓ 教科書を手元に置いて解けば非常に簡単である。
- ✓ ほぼマーク式。
- ✓ Session 毎に出題頻度が大きく異なり、前年の出題箇所はあまり考慮されていない。
- ✓ 同じ文章が出題されたことはない。
- ✓ 試験時間は 70 分。リスニングは試験開始 30 分後、約 25 分である。
- ✓ リスニング問題には事前に目を通しておくことが望ましい。
- ✓ リスニング終了後、残り時間は 15 分。

なお、問題やスペースの都合上、本文の表現を若干変更して出題している場合がある。

対策としては、訳本を読み込むよりもテキストを繰り返し読んでおく事をお勧めする。労力のかかる試験対策しかできない英語一列であるが、不可になる人は例年ほとんどいないので、対策がうまく進まないからといって神経質になる必要はないだろう。なお、「暗記一列」と称される科目ではあるが、初見では全く解けない問題が存在するわけではない。暗記、フィーリングに頼った解答をするのもいいが、迷った際には自分の英語力を信じて論理的に解答するべきだ。

Reading は 4 題の出題のうち、3 題は 30~40 行程度のまとまった英文を対象にしており、教科書の穴埋めが中心である。残り 1 題は、短文の並び替えや不要語を指摘する問題など、比較的短い文章を対象にしている。リスニング終了後、試験時間は残り 15 分であり、5 分見直しをすれば、Reading にかける時間は「前半 30 分」+「後半 10 分」となる。単純に考えると 1 題 10 分であるが、上述の出題形式を考慮して、各人にあった解き方を考えてもらいたい。

なお、丸暗記のみが強調されがちな英語一列だが、それぞれの文章を把握すると同時に、Session 全体の流れを把握してほしい。そうすれば、出題箇所に自信が無くとも解答する事が出来るだろう。単純な暗記に頼らない事が大切だ。

ここまで試験の概要や対策について述べてきたが、まずやってもらいたいことは「過去問を 1 年分解く」ことである。教科書を片手に取り組めば 30 分もかからないので、まずは敵を知ってほしい。

最後に。

健闘を祈る。